



明石市立錦城中学校
第73回生 学年通信
第114号
平成30(2018)年
10月16日(火)

これでいいのか？73回生

昨日、初めての体育館練習が行われました。合唱隊形の確認、生徒席からステージへの移動の練習。そして全体合唱。途中、厳しいお話をさせていだきましたが、残念ながら始めからとても雰囲気が悪く、見ていられませんでした。こんなことでいいのでしょうか？

体育館での練習は昨日と19日(金)24日(水)3回だけです。そのうち1回がこんな形で終わってしまいました。昨日のような練習を3回行って、いい発表ができるのでしょうか？

私から気になった点を上げさせていただきます。

隊形移動は発表のはじまり。

ステージへの移動から合唱の発表は始まっています。タラタラとだらしない移動は見ている人にどのような印

象を与えるのでしょうか？昨日は何の練習だったのでしょうか？単純にステージの位置の確認だけだったのでしょうか？移動の時は何も気をつけなくても良かったのですか？気をつけるところ、何に気をつけますか？どこにこだわっていきますか？そんなこだわりが見えない練習でした。合唱の前にどんな様子を見てもいいのでしょうか？

声が出ていない合唱はない。

はじめに声出しに『夢の世界を』を歌いました。何ともか細い声。そして開いているのか開いていないのかわからない口。何を言っているのかわからない歌詞。合唱は上手い下手の前にまず、声が出ている事が絶対的な条件です。歌うことは表現すること。言葉だけではなく、メロディーも伴った表現方法です。高い音、低い音、速いリズム

ム、遅いリズム、そこに言葉が乗ってきます。音楽ですからメロディーが大切です。でも言葉も大切です。歌詞が聞き取れず、何を歌っている(言っている)のかわからないようでは、歌としては不完全です。

話を聞かずに上達はない。

宅和先生が合唱を止めるのは何のためですか？宅和先生が皆の合唱を聞き途中、合唱を止めてアドバイスをしてください。そして、また改めて合唱を始めます。

ところが宅和先生が合唱を止めるたびに、時には顔を右に左に動かし、時には話をし、時にはニヤニヤと笑う、人がいます。宅和先生が合唱を止めた次はアドバイスをされます。そのアドバイスはきいていますか？合唱が止まったら、アドバイスに耳を傾け、次はそのアドバイスを生かして歌う。また止められれば、アドバイスを聞き、そしてまたそれを生かして歌う。その繰り返しによって、いい合唱ができていくのではないのでしょうか？合唱が止まっているときは、しっかりとアドバイスを聞くときです。休憩時間ではありません。アドバイスをしっかりと聞いてこそ、良くなっていきます。

感動的な合唱とは？

感動的な合唱とはどんな合唱でしょうか？何かのコンクールで優勝するような合唱を聞けば、おそらく感動するでしょう。上手な合唱ができれば、見ている人は間違いなく感動するでしょう。では下手な合唱は見ている人に感動を与えることはできないのでしょうか？私は違うと思います。人はただ誰かが何かに一生懸命に取り組んでいる姿を見るだけで感動するんだと思います。

この夏、百回大会を迎えた高校野球のことがよく話題になり、多くの人々に感動を与えました。感動するのは応援しているチームが勝つかうでしょうか。私は違うと思います。高校生が一生懸命に戦っている姿を見て、感動しているんだと思います。負けたチームを見ても感動するのは一生懸命に取り組んでいるからでしょう。今の錦城中学校ふつに言えばパッション(情熱)を持って取り組んでいるから感動するんでしょう。合唱も同じなのではないでしょうか？上手、下手よりもまず大切なものは一生懸命に取り組む姿勢なのではないのでしょうか？そんな姿勢が、昨日の練習には見られなかったのが、私は何より残念でならない。

73回生の発表を
どんなものにするのか？

最後に皆さんに聞きたいのは、10月26日は、どんな発表をしたいのですか？去年、2年生や3年生の発表を見て、どう思いましたか？上級生になった今、1年生にはどんな発表を見せたいですか？そして学年練習をどういふに取り組んでいきたいですか？自分達でしっかりと考えてほしいと思います。

